

● Activities ●

ドコモ開発HEVC復号ソフトウェア 世界最大の放送機器展に出展

2013年4月8日（月）から11日（木）まで、米ラスベガスにて開催されたNAB Showにドコモ開発のHEVC（High Efficiency Video Coding）復号ソフトウェアを出展しました。

NAB ShowとはNAB（National Association of Broadcasters）が主催する世界最大の放送機器展です。1,500社以上の企業から9万人以上が来場し、世界中から強い関心が寄せられています。

ドコモが出展したHEVC復号ソフトウェアとは、2013年1月に国際標準規格として承認された新動画圧縮方式HEVC（正式名称：H.265 | ISO/IEC 23008-2）で圧縮された動画を、モバイル機器やPCなど、さまざまな機器の汎用動画プレーヤで再生できるように復号するものです。本ソフトウェアは、スマートフォンでのフルHD^{*1}動画の実時間再生に対応し、また汎用PCでは、フルHDの4倍の解像度に相当する4K動画を秒60コマで再生することが可能です。本ソフトウェアは国内外の企業向けにライセンス提供を行っており、これまでに多数の応募を頂いています。

NAB Showへの出展は、動画をHEVCで符号化す

るソフトウェアを開発した4社（eBrisk/Altera, harmonic, NTT, THOMSON VIDEO NETWORKS）からの出展協力依頼に応える形で実現しました。各社ブースにおけるメイン展示の1つとして、各社の技術で符号化された動画がドコモのHEVC復号ソフトウェアで再生されました（写真1）。

HEVCの展示は終始盛況で、来場者からはドコモの復号ソフトウェアに関して数多くの質問が寄せられました。NAB Showへの出展は、ドコモ開発のHEVC復号ソフトウェアを世界に向けてアピールする良い機会となりました。

HEVC復号ソフトウェアの詳細情報は、ドコモ公式サイトの技術情報にて紹介されています[1]。

文 献

- [1] NTTドコモ：“技術情報 | 企業情報 | NTTドコモ。”
<http://www.nttdocomo.co.jp/corporate/technology/hevc/index.html>

*1 フルHD：画像の画素数が1,920×1,080pixの表示形式。



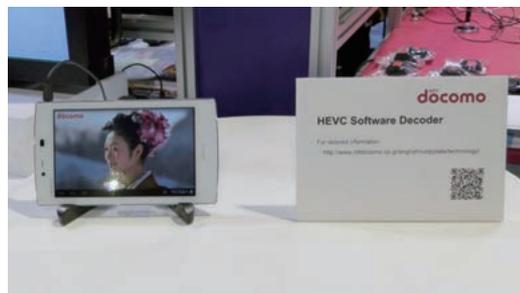
(a) harmonic ブース



(b) THOMSON VIDEO NETWORKS ブース



(c) eBrisk/Altera ブース



(d) NTT ブース

写真1 NAB Showでの各社ブースにおけるドコモ開発HEVC復号ソフトウェアの展示